

剣崎なんば保存愛好会

白山市



剣崎なんばの品質を守りながら

生産地を広げ、後世に残す

■取り扱っているもの

品目	出荷時期	生産量 (年間)
乾燥とうがらし (綱)	9月上旬～11月	250綱
(袋詰め)	9月下旬～11月	10kg
剣崎なんば(粉末)	9月下旬～12月	25kg
なんば味噌	年間	450kg
鉢植え	8月～9月	200鉢



綱



袋詰め

粉末



鉢植

※その他、青いとうがらしの扱いもしておりますので、
お問い合わせください。

■セールスポイント

剣崎なんばは文献では、1869年(明治2年)までさかのぼることができますが、それ以前からあったと言われていました。戦前までは、剣崎町のほとんどの農家で栽培されていましたが、戦後は需要が減り廃れていきました。1990年から、復活の取組が行われており、平成21年6月には、白山市の特産農産物に指定されたことを契機に剣崎なんば保存愛好会を設立し、保存、生産振興に取り組んでいます。

剣崎なんばは、蠟引きしたような艶のある赤色で鞘が他に比べ細長い。激辛であるが後味が甘く残るのが特徴です。

代表者 下村 正耕(しもむら せいこう)
 構成組織 剣崎なんば生産組合、松任園芸保存協会、(農)御坊営農組合、
 J A 松任青年部林中地区、鳥越地区剣崎なんば生産グループ
 連絡先 〒924-0842 白山市剣崎町59
 TEL : 076-276-1005